

まちづくり基本構想策定にかかるアンケート調査結果速報

平成14年9月2日

調査のあらまし

1 調査の目的

津・久居・安芸郡・一志郡市町村合併問題協議会（以下「協議会」という。）では、構成市町村の住民に、これからの地域のあり方や新しいまちづくりについて考えてもらうために、合併後の将来のまちづくりについてのビジョンを示すものとして、「まちづくり基本構想」の策定を行うが、この構想の策定にあたり、住民の意見を把握するため、アンケートを実施した。

2 調査項目

一般的な市町村合併の動向、住民の声の市町村行政への反映度、あたらしいまちのあり方、あたらしいまちで重視する施策、あたらしいまちの行政のあり方、まちの誇れるもの、自由意見、合計11項目について質問を行った。

3 調査方法

本調査は下記の方法により実施した。

- ・調査方法：郵送法。調査票発送後、回答締め切り前に、調査協力礼状兼督促状（葉書）を送付した。
- ・調査対象者：協議会構成市町村に居住する20歳以上の男女
- ・標本数：5,000人
- ・抽出方法：協議会構成市町村の選挙管理委員会の了解を得て、平成14年6月1日現在の市町村選挙人名簿から別紙市町村別内訳数により、必要な標本数を無作為抽出した。
- ・実施時期：平成14年7・8月
- ・回答数（率）：2,272人（45.4%）

調査結果（速報）

1 回答者の属性

（1）性別

男女の構成比は、男性1,125人で49.5%、女性1,126人で49.6%となった。

なお、男女別の回答率は、男性43.6%、女性46.6%で、女性の方が高くなっている。

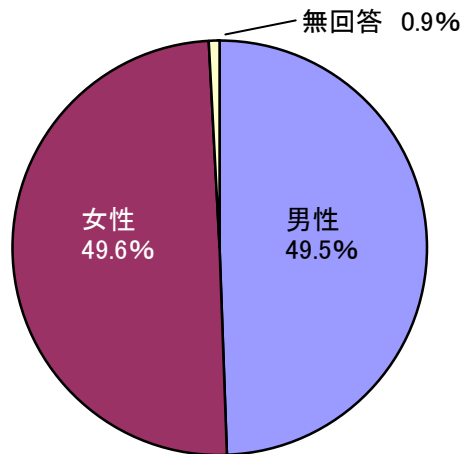


図1 性別

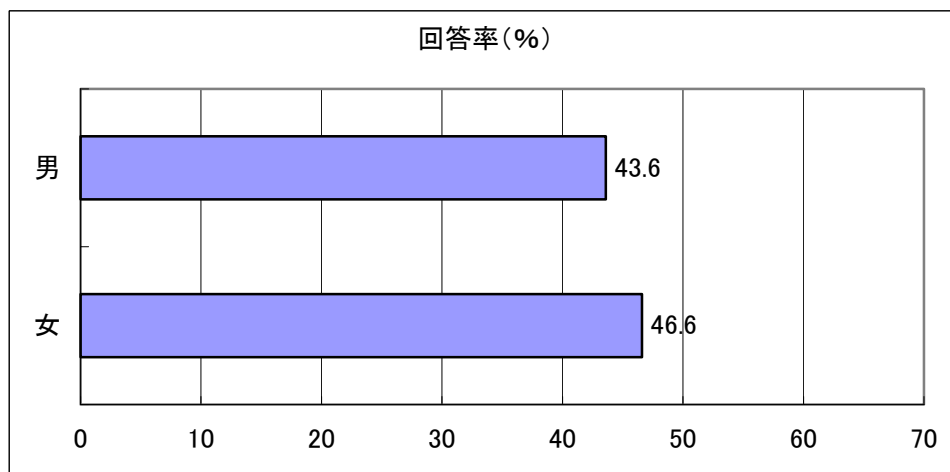


図2 性別回答率

(2) 年齢

年齢別の構成比は、10歳きざみで階層化すると、50歳代が最も多く、580人で25.5%、以下60歳代が549人で24.2%、70歳代が406人で17.9%と続いている。一方、20歳代が154人で6.8%、次が30歳代で219人で9.6%となっており、20歳代、30歳代の回答者の構成が低くなっている。

なお、年齢別の回答率は、高い方から60歳代で57.2%、70歳代以上53.8%、50歳代47.7%と続いている。低いのは20歳代31.2%、30歳代31.3%である。

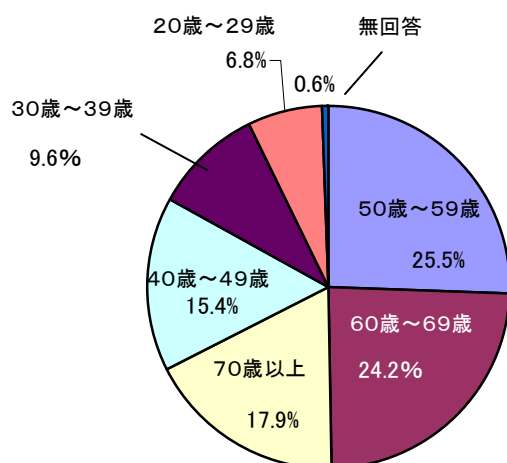


図3 年齢別

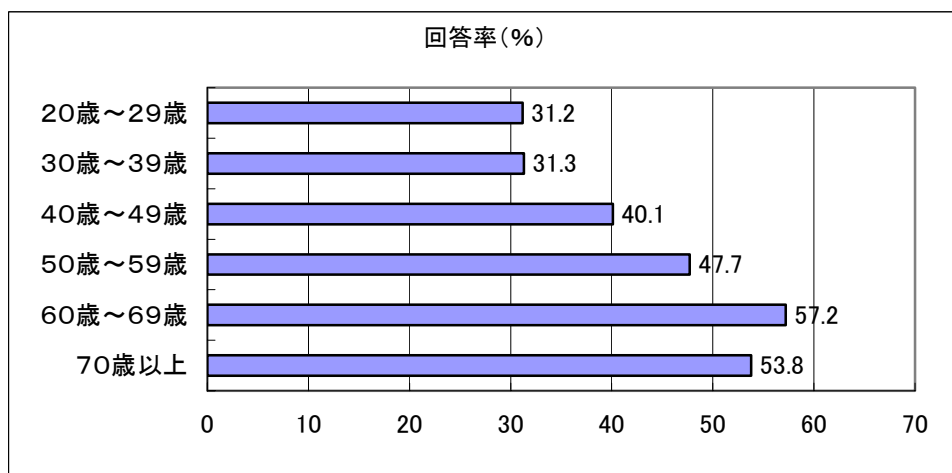


図4 年齢別回答率

(3) 職業

職業の構成比は、無職が500人で22.0%、家事専業が371人で16.3%、サービス業が294人で12.9%、製造業が217人で9.6%、公務員が182人で8.0%となっている。無職が多いのは、60歳代、70歳代の回答者が全体の42.1%と多いのが要因と推定される。

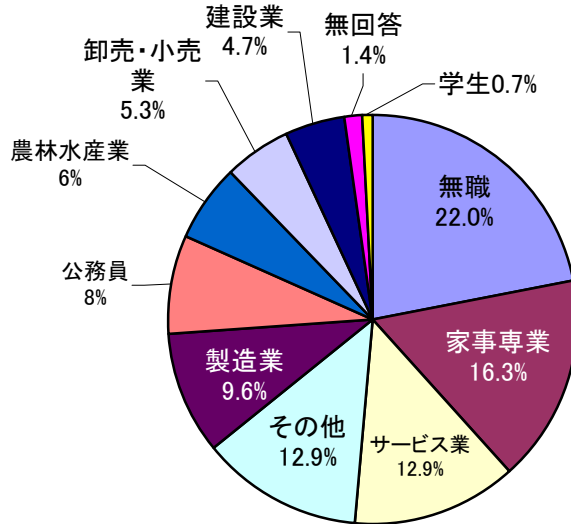


図5 職業

(4) 居住地市町村

居住地の多いところは、津市929人で40.9%、久居市271人で11.9%、嬉野町178人で7.8%、一志町153人で6.7%、白山町145人で6.4%と続いている。

なお、市町村別の回答率の高いのは、嬉野町53.9%、一志町51.0%、美里村50.7%であり、50%を超えている。一方、低いのは、河芸町39.4%、芸濃町42.7%、香良洲町43.3%、美杉村43.6%、津市43.8%と続いている。

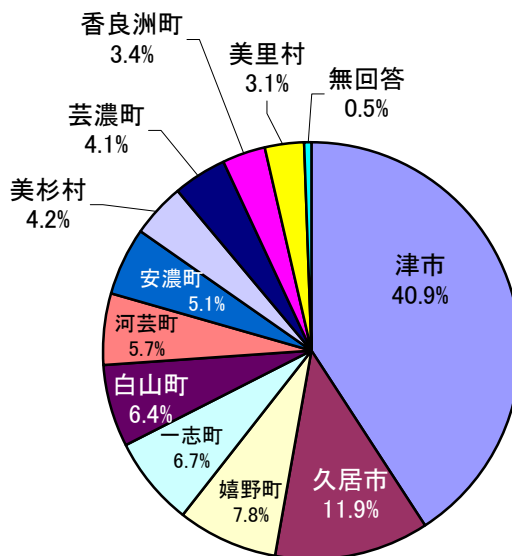


図6 居住地市町村

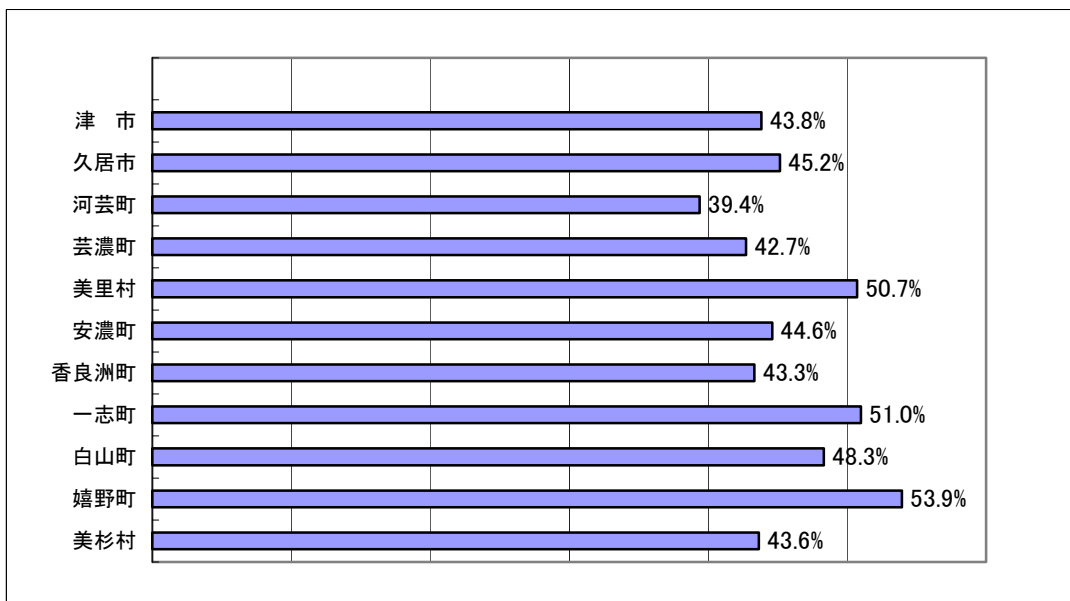


図7 居住地市町村別回答率

(5) 現在地での居住年数

現在地での居住年数は、20年以上が1,011人で44.5%、10年から19年が237人で10.4%となっている。回答者の年齢層が高いこともあり、この地域に、長期間居住している人の回答者が多い。

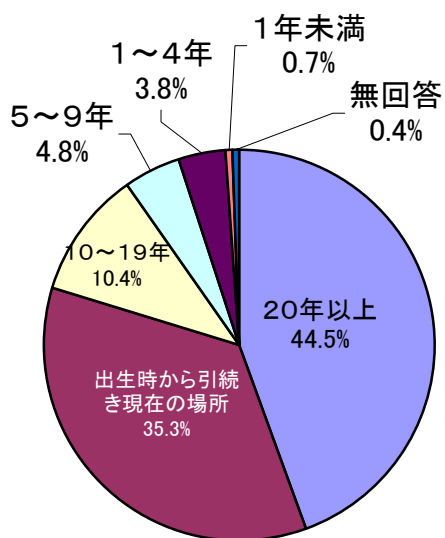


図8 居住年数

2 質問結果

問1：今、本格的な地方分権時代を迎え、少子高齢社会の到来や厳しい財政状況に対処するため、全国的に市町村合併の動きが見られますが、こうした状況を踏まえて、あなたは、この一般的な市町村合併の動きについてどう思われますか。1つ選んでお答えください。

望ましいと回答が488人で21.5%、少なくとも合併を検討することが望ましいが772人で34.0%となっており、合併について前向きな回答が全体の55.5%である。

これに対し、望ましくないは313人で13.8%である。

また、どちらともいえないが488人で21.5%であり、調査を実施した平成14年7・8月時点で判断を保留している人が多くいることがわかる。

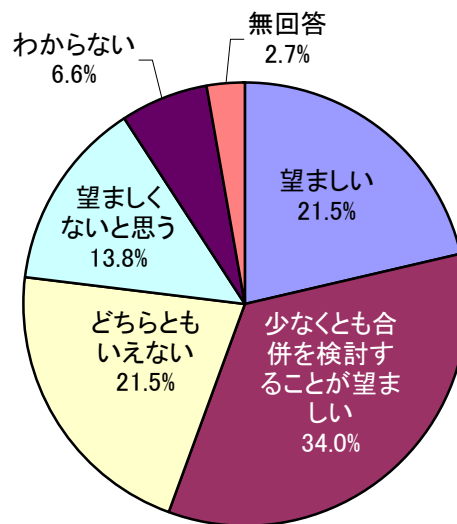


図9 一般的な市町村合併について（全域）

性別でみると、望ましいが、男性26.3%、女性16.8%で、男性の方が高い。望ましくないは、男性14.1%、女性13.7%で、若干男性の方が高い。どちらともいえないは、女性26.8%、男性16.3%で、判断を保留しているのは女性が多いことがわかる。

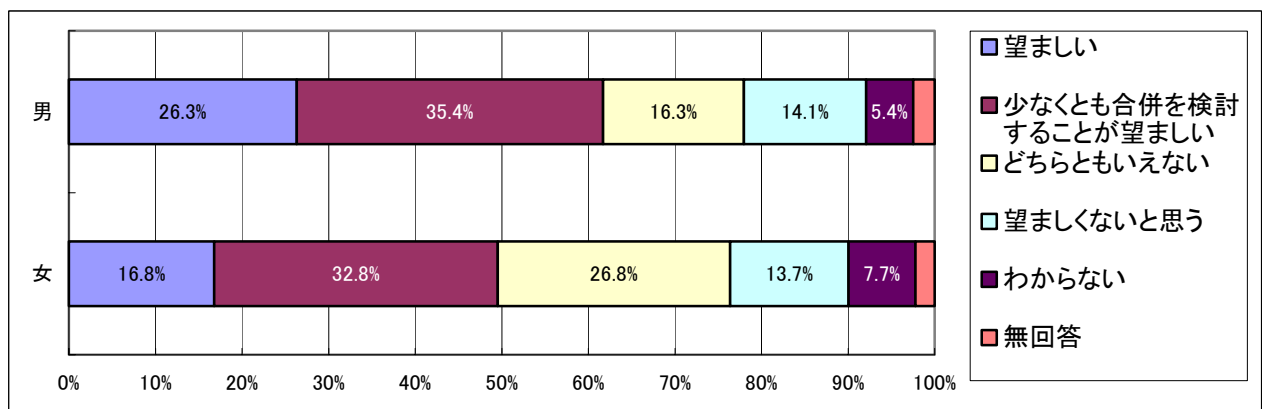


図10 一般的な市町村合併について（男女別）

年齢別にみると、望ましいと回答した人の率が高いのは、70歳以上26.1%、60歳代24.6%、50歳代23.3%であり、一方、低いのは、30歳代10.5%、40歳代15.4%となっている。

望ましくないと回答した人の率が高いのは、30歳代21.0%、50歳代15.2%、40歳代14.8%である。一方、低いのは70歳代以上10.1%、60歳代11.8%である。

なお、20歳代・30歳代・40歳代はどちらともいえないという率が高い。また、30歳代のみは、望ましくないと望ましい率を上回っている。ただし、少なくとも合併を検討することが望ましい率を加えると、望ましくないと望ましい率は17.8%下回る。

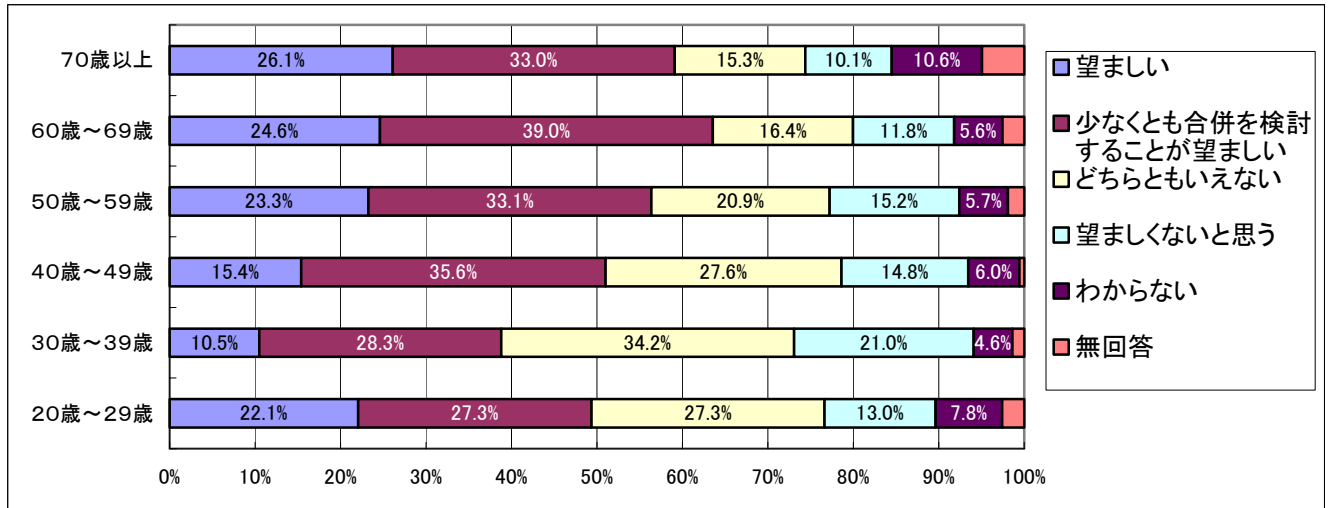


図 1 1 一般的な市町村合併について（年齢別）

市町村別にみると、望ましいと回答した人の率が高いのは、白山町26.2%、津市23.7%、香良洲町23.1%、久居市・嬉野町22.5%である。一方、低いのは、一志町10.5%、安濃町17.2%、美杉村17.7%、河芸町18.5%となっている。

望ましくないと回答した人の率が高いのは、美杉村24.0%、河芸町22.3%、久居市16.2%、一志町15.0%、安濃町14.7%、美里村14.1%である。一方、低いのは、嬉野町10.7%、津市11.4%、香良洲町11.5%である。

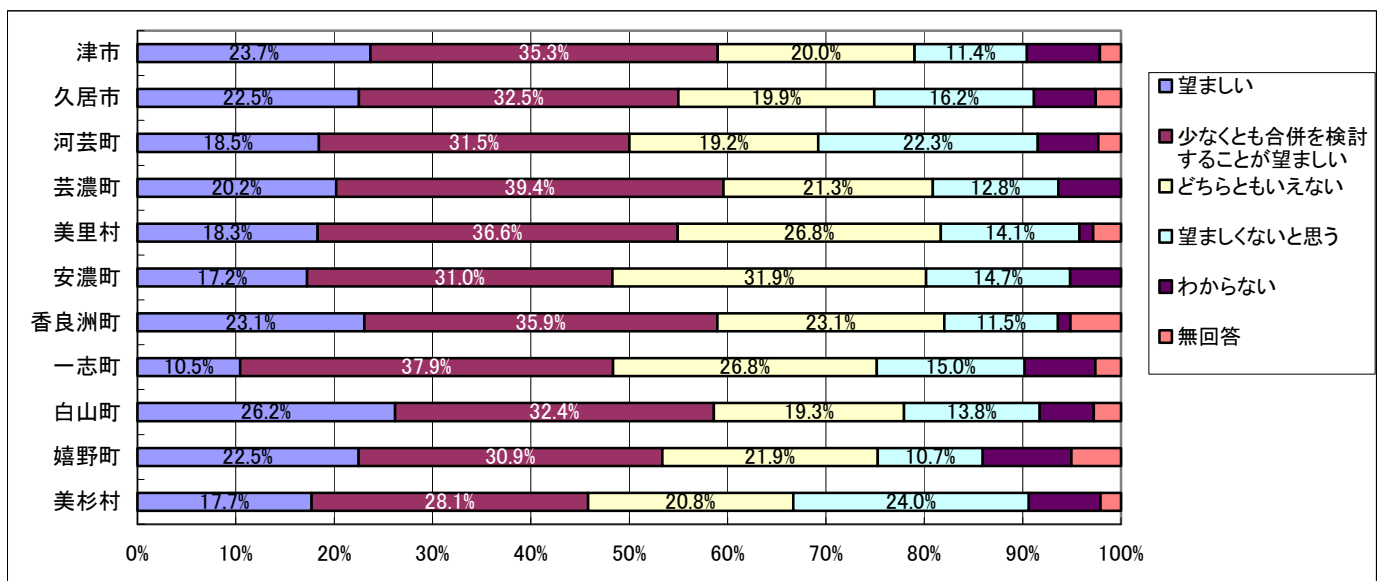


図 1 2 一般的な市町村合併について（居住地市町村別）

職業別に見ると、望ましいと回答した人の率が高いのは、建設業 30.8%、無職 26.2%、学生 23.5%、サービス業 23.1%、農林水産業 21.2% である。一方、低いのは、家事専業 16.7%、製造業 17.5% である。

望ましくないと回答した人の率が高いのは、公務員 19.2%、建設業 17.8%、農林水産業 16.8%、である。一方、低いのは、無職 9.0% となっている。

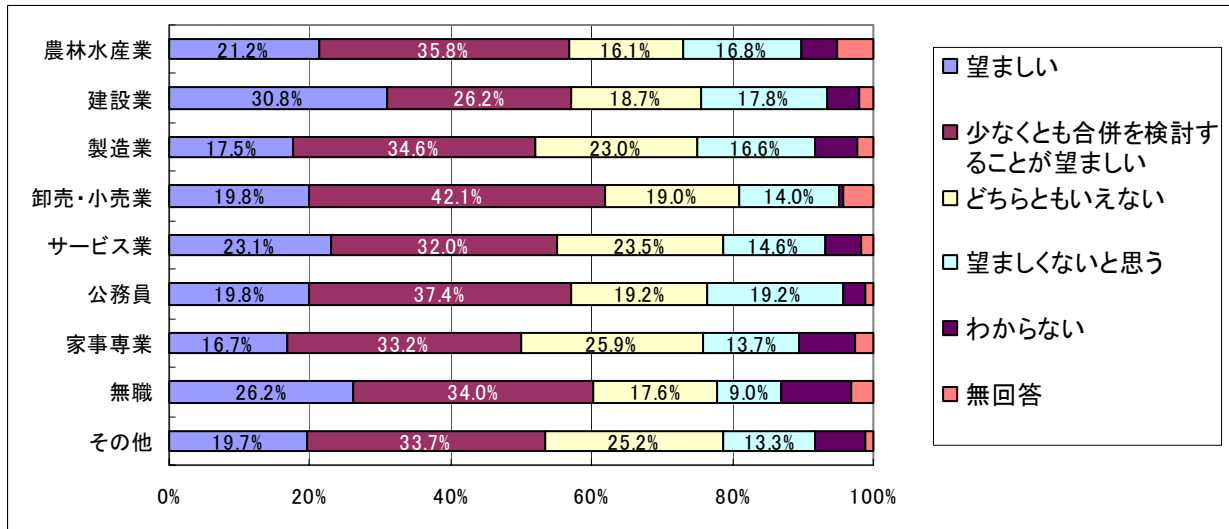


図 1 3 一般的な市町村合併について（職業別）

問2：市町村合併が望ましいと思う理由を3つ選んでお答えください。

市町村合併が望ましい理由で、選択数が多いのは、行政経費の節約及び行政運営の効率化895、市町村長や議員、職員の削減736、行政サービスの向上464、道路、主要公共施設など広域的施設の効率的な整備360と続いている。

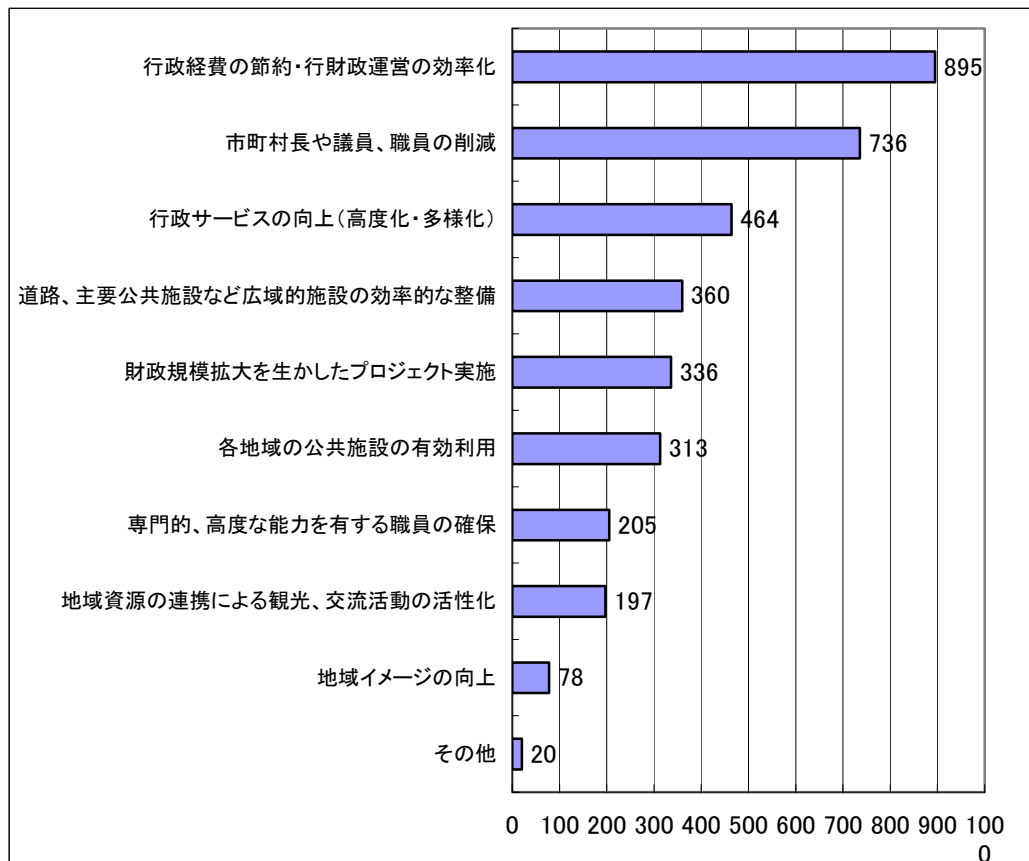


図14 市町村合併が望ましい理由(全域)

問3：市町村合併が望ましくないと思う理由を3つ選んでお答えください。

市町村合併が望ましくない理由で、選択数が多いのは、市町村の区域が広くなり、行き届いたサービスが受けられなくなる189、市町村合併後の中心地域と周辺地域で格差が生じる175、行政サービスが低下したり、料金が上がったりする148、昔から継承されてきた文化や伝統などの地域性がなくなる94、合併後の役所が遠くなり、不便になる91である。

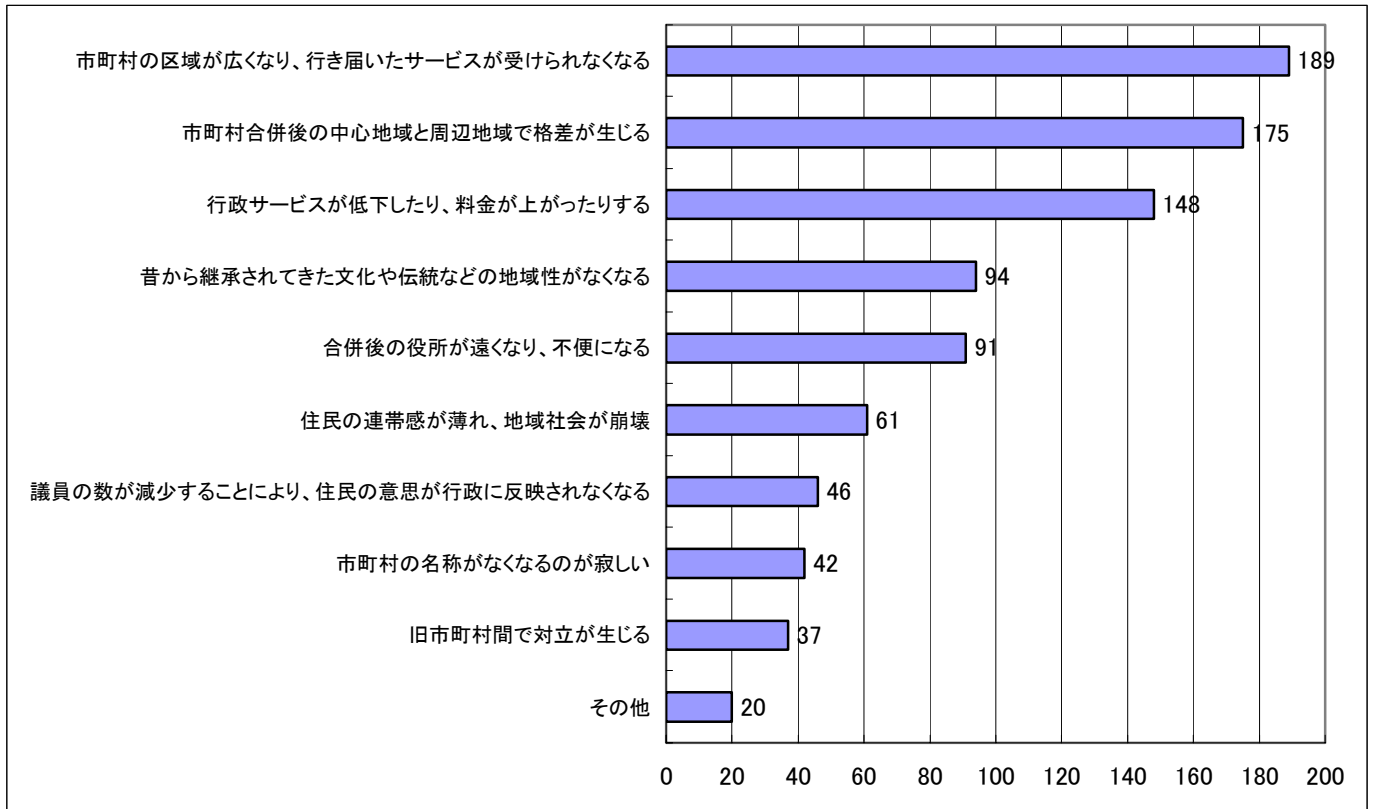


図15 市町村合併が望ましくない理由（全域）

問4：津・久居・安芸郡・一志郡市町村合併問題協議会が設置されていることについてご存知でしたか。該当する番号を選んでください。

よく知っていた603人で26.5%、少し知っていた1,224人で53.9%、知らなかった374人で16.5%であり、ほとんどの人が協議会の活動を周知している。

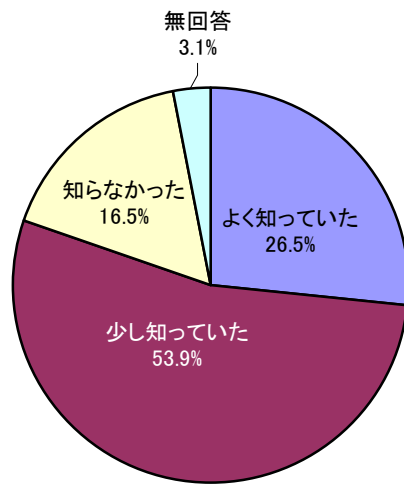


図16 協議会の認知度（全域）

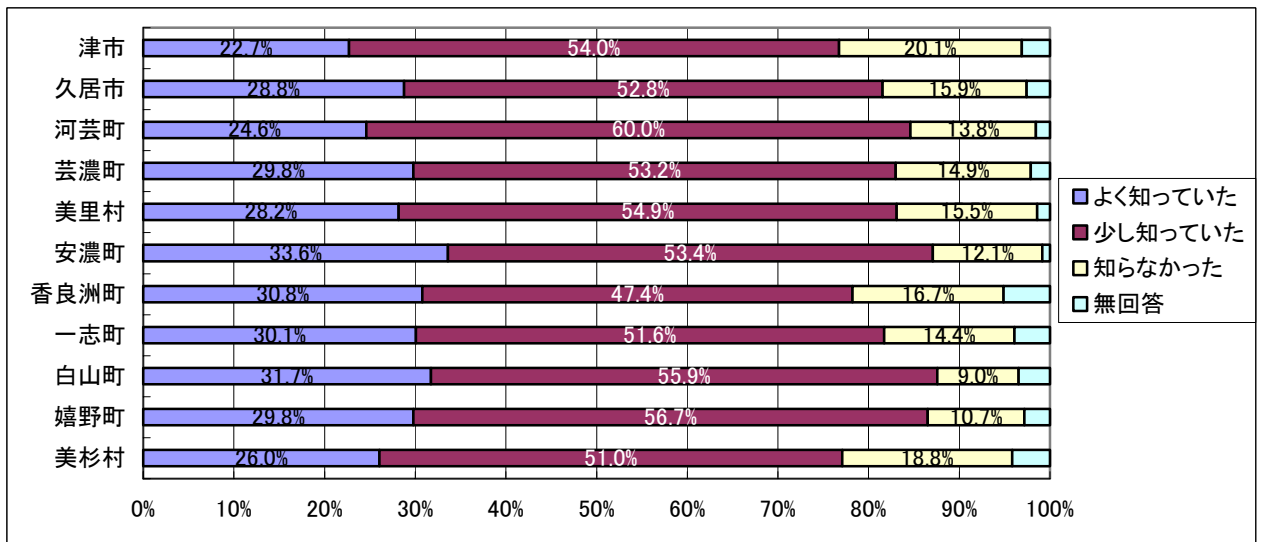


図17 協議会の認知度（居住地市町村別）

問5：あなたが市町村合併を考えるに当たって、どのようなことが必要だと思いますか。
2つ選んでお答えください。

選択数が多いのは、市町村合併に関する構想・計画の提示1,306、住民意識や意向を広く聴取りすること1,063、市町村合併に関するパンフレットの作成、配布などの情報提供906、市町村合併に関する公開説明会、討論会等の開催708と続いている。

住民の声を聞き、構想、計画の提示の重要性が認識される。なお、説明会、討論会等開催の率の順位が低い結果となっている。

その他の設問項目以外の意見としては、説明会を一般市民に広く行うようにする。ある程度の強引さ、住民投票での意見の聞き取り、津市長の強力なリーダーシップ、協議会委員に民間人を加える、若者の意見聞き取りなどがあつた。

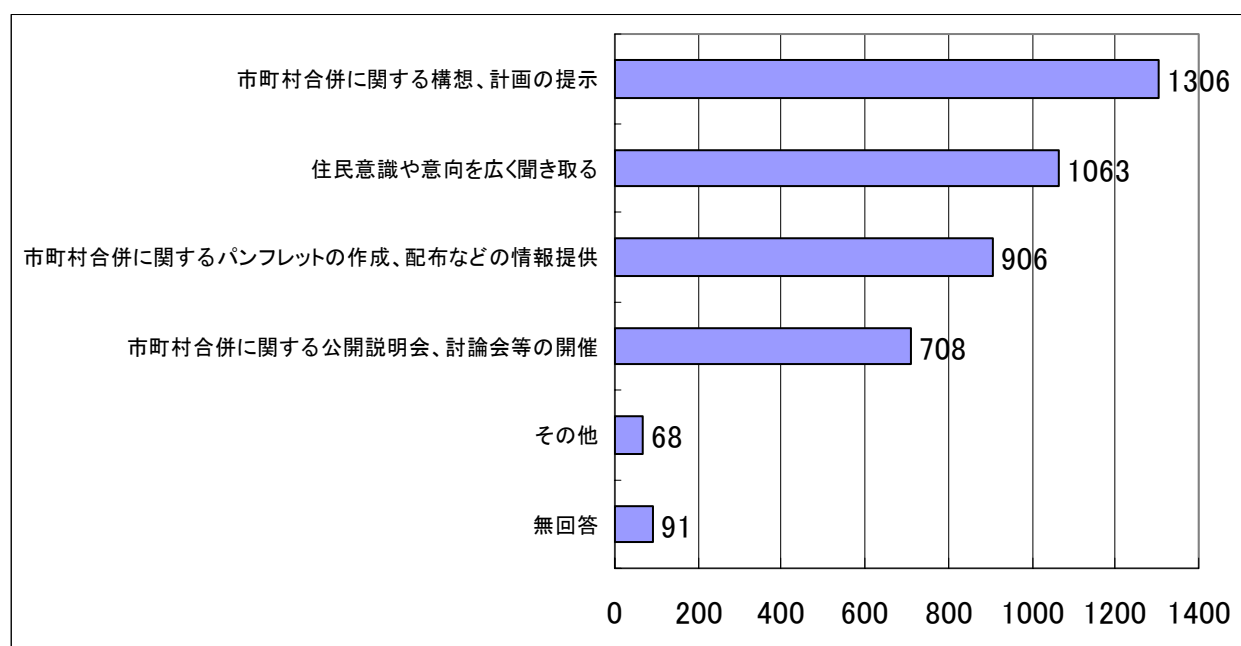


図18 合併を考えるのに必要なもの（全域）

問6：あなたは、あなたが住む市町村の現状の行政サービスに、住民の声が反映されていると思いますか。1つ選んでお答えください。

まあまあ反映されている49.8%、あまり反映されていない15.8%、よく反映されている4.1%、全く反映されていない2.5%となっている。わからないが24.4%と高い率になっている。

男女別では、よく反映されているが男4.9%、女3.2%、まあまあ反映されているが男54.2%、女45.6%であり、男性の方が、より多く行政サービスに住民の声が反映されていると考えている。なお、わからないについては、男が18.7%であるのに対し、女性が30.4%と高い率になっている。

年齢別にみると、よく反映されているについては、30歳代0.9%、40歳代1.4%、20歳代1.9%が低く、70歳代10.3%、60歳代5.1%が高くなっている。

全く反映されていないについては、20歳代3.9%、40歳代3.4%、50歳代3.3%と高くなっている一方、70歳代は0.5%、60歳代は1.8%でありほとんど不満をもっていないという結果となった。

よく反映されている居住地市町村別にみると、香良洲町11.5%、嬉野町10.1%、安濃町7.8%、白山町6.2%が高い率となっており、津市2.4%、久居市2.6%が2%台となっている。

居住地市町村別の全く反映されていない率で、全域の率の2.5%を上回っているのは、津市の3.8%のみとなっている。

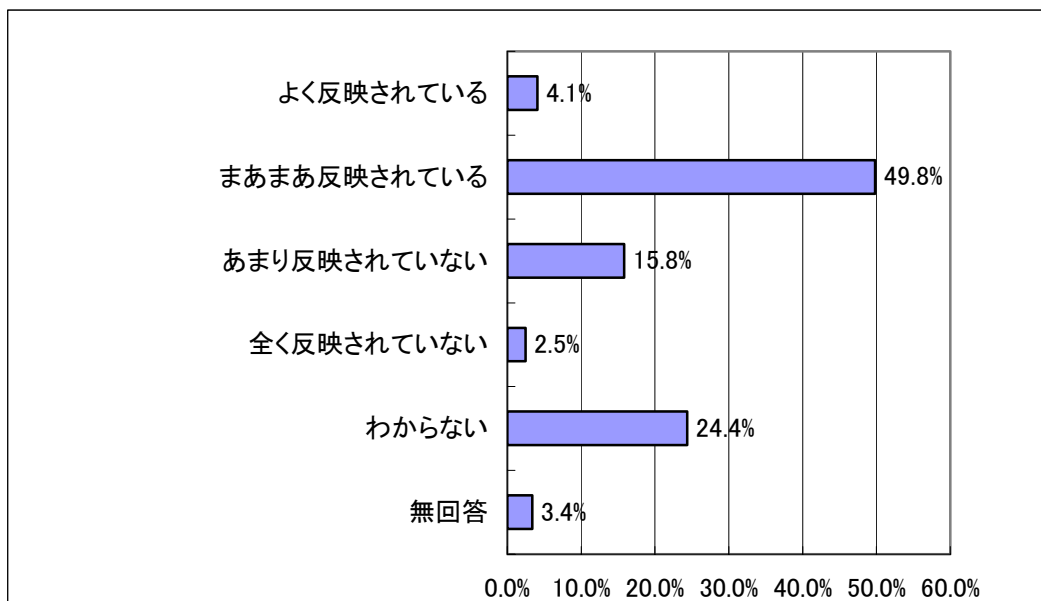


図19 住民の声の市町村行政への反映度（全域）

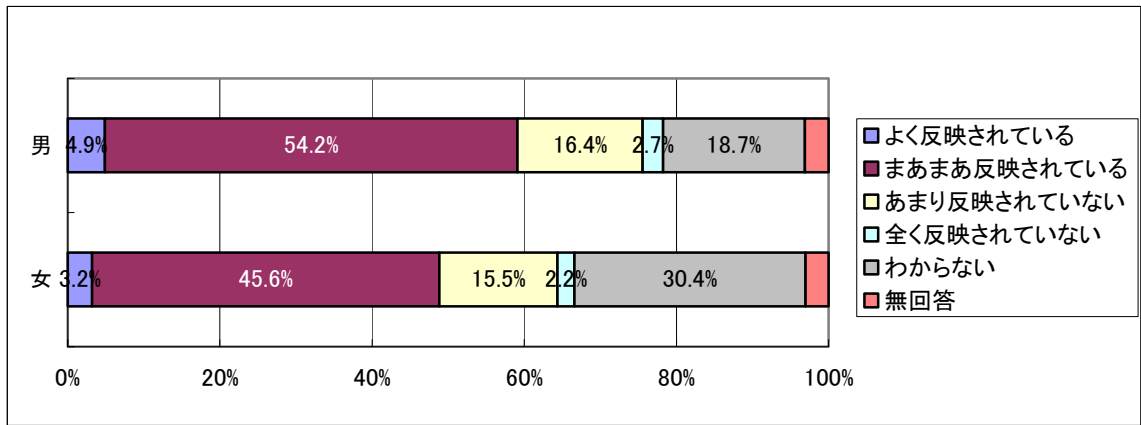


図 2 0 住民の声の市町村行政への反映度（男女別）

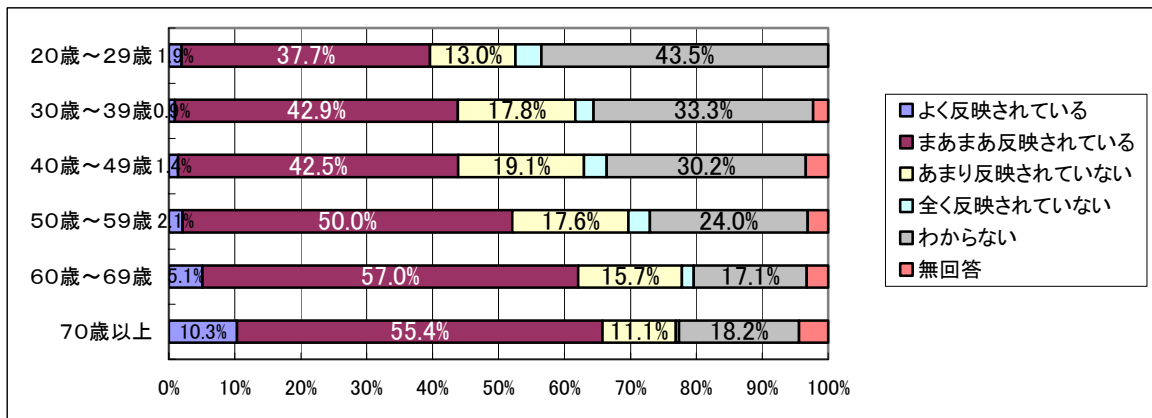


図 2 1 住民の声の市町村行政への反映度（年齢別）

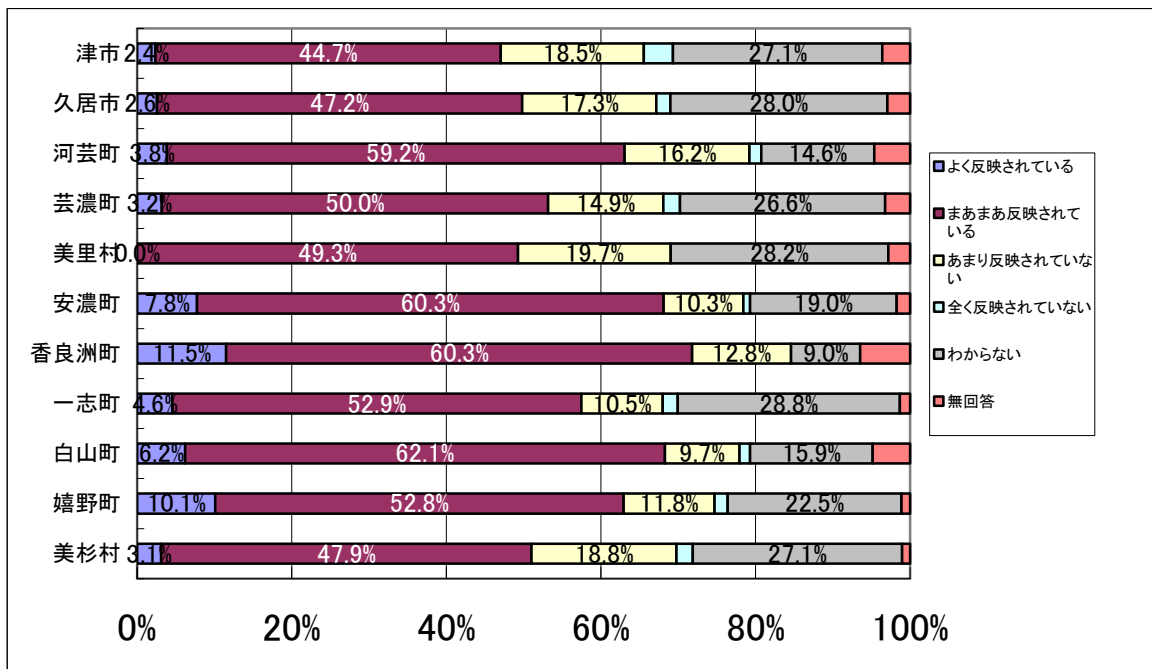


図 2 2 住民の声の市町村行政への反映度（居住地市町村別）

あまり反映されていない、全く反映されていないという項目を選択した理由は、次のものがあつた。

- ・ 住民の声を届ける機会が少ない。
- ・ 不満に対する対応が遅い。
- ・ 横のつながりが少ない。
- ・ 前例に固執し、柔軟な対応が出来ない。
- ・ 住民の声を積極的に聞こうとする姿勢を感じない。
- ・ 一部の住民の人への行政サービスが多い。
- ・ 職員に専門性がない。

問7：あなたは、津市、久居市、安芸郡、一志郡（三雲町を除く）の合併が行われた場合、そのまちのあり方として、何を望まれますか。3つ選んでお答えください。

望む選択数が多いものは、海、山、川など豊かな自然環境を大切にしまち901、高齢者や障害者施策など安心して暮らせる福祉のまち891、道路、公園、上下水道などの生活環境が整ったまち677、健康づくり対策や医療サービスが充実した健康のまち589、ゴミ、公害、エネルギー対策などの環境問題に積極的に取り組むまち486と続く。

一方、望む選択数が少ないものは、国際交流に積極的に取り組むまち27、観光客が心の憩いを感じるような観光のまち35、大学などの高等教育機関の人材や施設が活かされているまち54、人権や男女共同参画を尊重したまち57となっている。

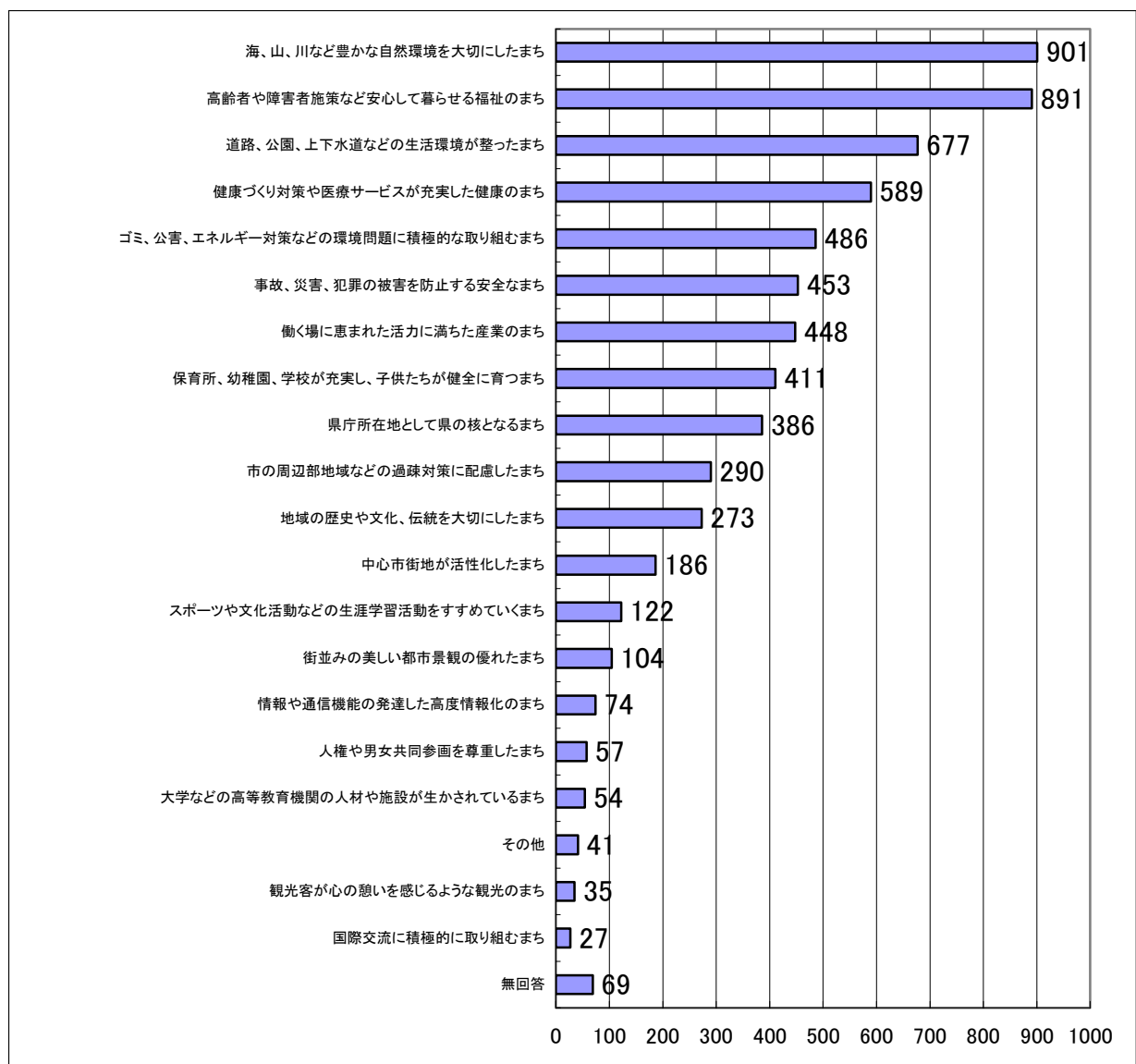


図 2 3 あたらしいまちのあり方（全域）

問 8：あなたは、市町村合併により新しいまちづくりが行われる場合、重視してほしいと思う施策を、6つ選んでお答えください。

選択数の多いのは、高齢者福祉の充実 1,235、地域医療の充実 654、生活環境・自然環境の保全 650、雇用の確保 607、青少年の健全育成の推進 580、学校教育の充実 547となっている。

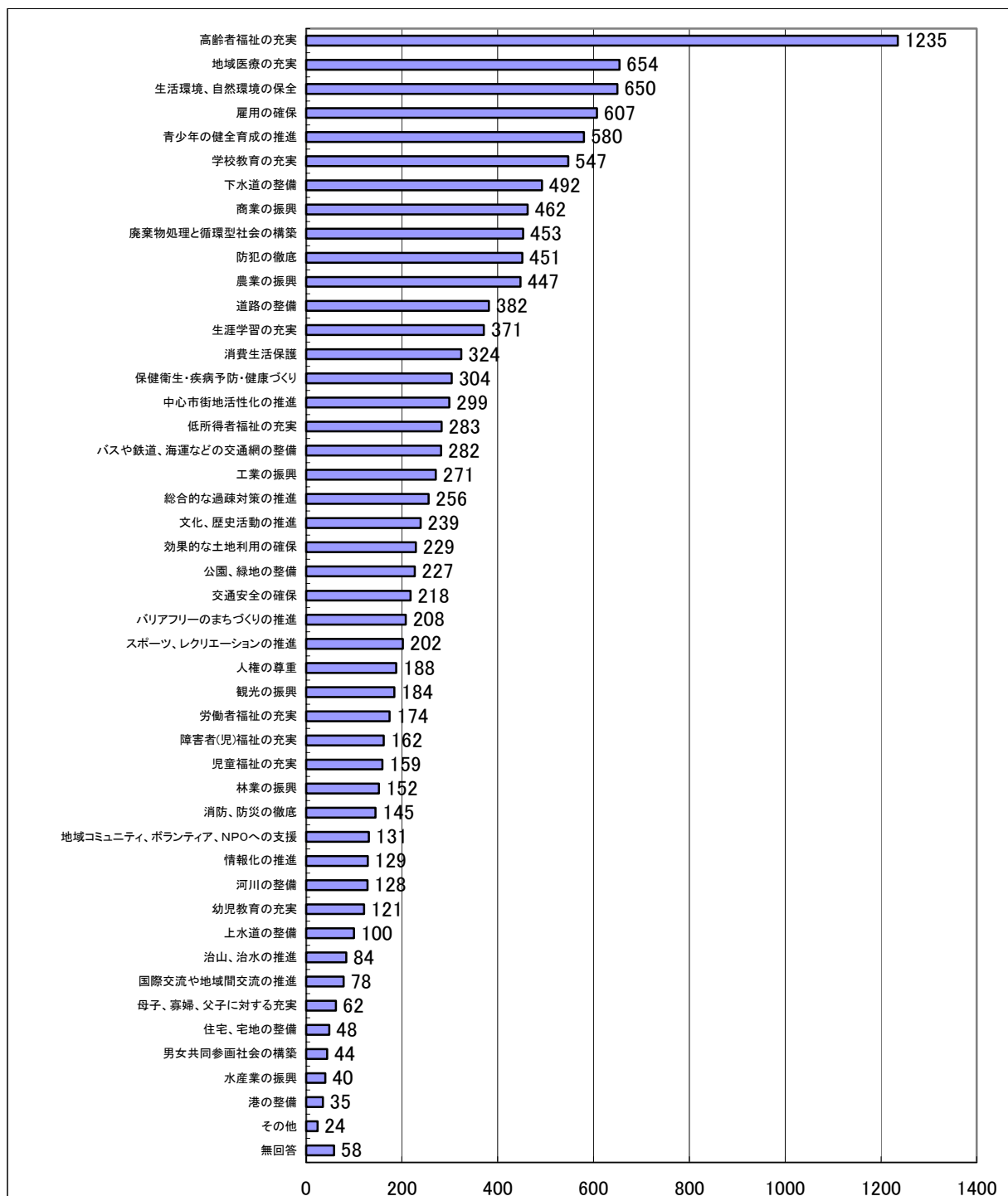


図 2 4 あたらしいまちで重視する施策（全域）

問 9：あなたは、津市、久居市、安芸郡、一志郡（三雲町を除く）の合併により、新しいまちづくりを行う場合、新市の行政のあり方に何を求められますか。

2つ選んでお答えください。

選択数が多いのは、住民の意向をきめ細かく反映させる仕組みづくり 975、情報公開、情報提供の推進 759、事業の実施にあたり住民に十分な説明を行い、納得してもらう仕組みづくり 608、行政をチェックする仕組みづくり 446となっている。

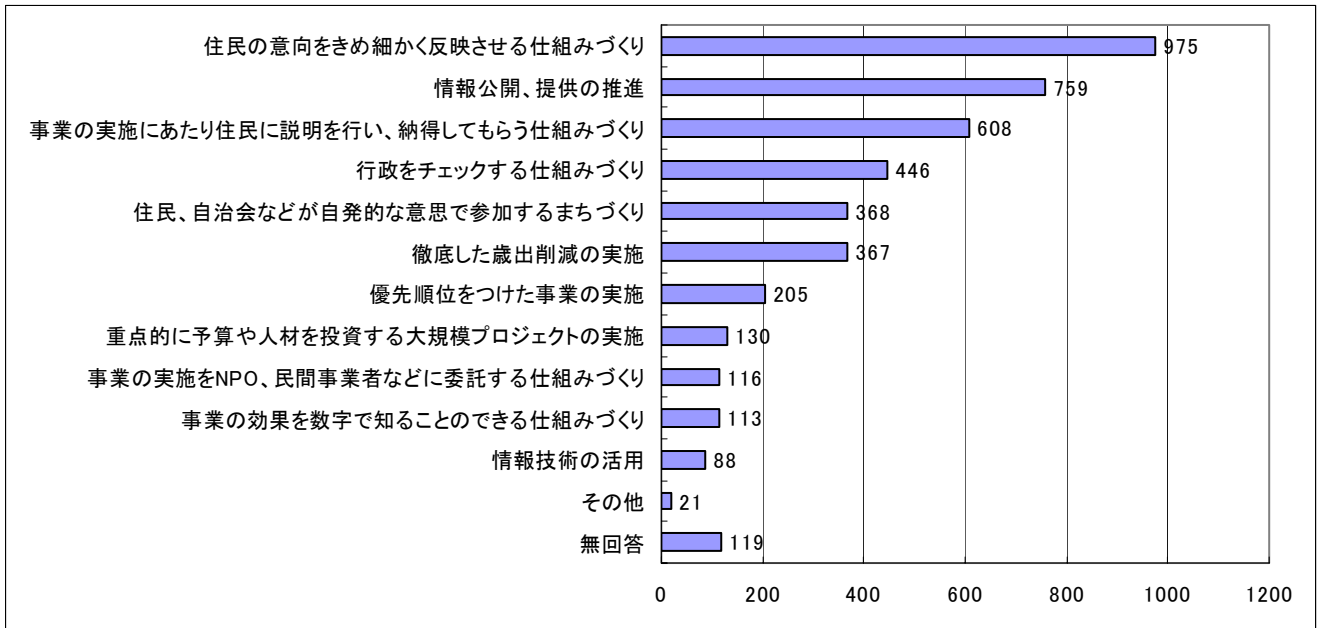


図 2 5 あたらしいまちの行政のあり方（全域）

問 10：あなたが住むまちにおいて、自慢できるもの、誇りに思うもの、新市のまちづくりに活かしていくべき特色について、ありましたら具体的に2つ以内で記入してください。

主なものは、次のとおりである。

豊かな自然、津市という一文字の名前、地域の歴史、伝統行事、文化施設、ヨットハーバー、きれいな海、近鉄中川駅、風力発電（風車）、温泉、県庁所在地、静かなまち、厚い人情、田舎、うなぎ、梨、高速道路インター、温暖な気候、大学

問11：津市、久居市、安芸郡、一志郡（三雲町を除く）の合併が行われた場合のあなたが望むまちづくり・まちのありかたなど思ったまま、感じたままをご記入ください。

自由意見の主なものは、次のとおりである。

- ・ 合併の必要性、合併のメリット・デメリットがみえないので、説明をしてほしい。また、どういうまちになるのか、住民負担・サービスがどのようになるかを示すこと。
- ・ 合併を考えている他の市町村の状況も知りたい。
- ・ 合併を面積及び人口の拡大だけに終わらすことのないようにするべきである。
- ・ 市役所の職員はたるんでいる。市町村議員・職員を削減し、民間の努力をみならうこと。行政経費の徹底的な見直しを図ること。職員は意識改革が必要である。
- ・ 補助金の見直しをすること。
- ・ 住民の意見が反映されるガラスばりの行政を進めること。

- ・今の合併は住民本位ではなく、行政主体で進んでいる。
- ・合併により役所が遠くならないようにしてほしい。
- ・合併を行って、きめ細かい行政ができるか心配である。
- ・合併を行うと、中心部に資源を投入し、周辺部はさびれてしまう。地域格差のないまちづくりを望む。
- ・合併により、住民負担が増大したり、住民サービスが低下しないようにしてほしい。
- ・個人として他を頼らず、自己責任において、自らを律することが重要である。
- ・津市の地名を残してほしい。
- ・この地域の豊かな自然を守り、環境保全に積極的に取り組んでほしい。
- ・交通弱者に配慮してほしい。コミュニティバスの運行継続をしてほしい。
- ・情報公開を進めていくべき。
- ・現在ある支所を残してほしい。
- ・住民の意向を反映したまちづくりをしてほしい。
- ・それぞれの地域の特色、よいところを活かしたまちづくりをしてほしい。
- ・地域内の施設を皆が有効に使えるようにしてほしい。
- ・津市中心部はさびれている。活性化が必要である。県都にふさわしいまちづくりをしてほしい。
- ・若者が集い、働く場のあるまちづくりが必要
- ・交通基盤の整備を行う必要がある。
- ・安心、安全のまちづくりをしてほしい。
- ・福祉の充実を。
- ・文化、レクリエーション施設の充実を。
- ・津市のお城公園の整備を。
- ・青少年の健全育成を図るべきである。
- ・農業、林業にも希望が持てる行政を進めてほしい。
- ・ITを活用した行政を。
- ・他の地域の人との交流を図るべきである。